

■ 日本総合住生活株式会社と団地改修への取組

集合住宅の建物・設備の維持は適切な劣化状況の調査・診断と、これに基づく計画的な修繕が不可欠です。長年にわたる経験と蓄積したノウハウを駆使して、屋上防水工事、外壁塗装工事、給水設備等修繕工事など、社会資産（ストック）としての集合住宅の計画修繕を行う「ストック改修事業」を実施して、集合住宅の資産価値を高めるとともに、新たな技術開発を進めています。



□ 調査・診断業務

建物の外壁、給・排水管などの状況を調査・診断し、修繕の時期や対象範囲についてアドバイスを行います。



□ スtock総合技術開発

URが実施する「ストック改修技術開発等促進事業」で維持保全に関する技術等の開発、調査及び情報収集並びに技術開発等業務実施のために必要な保全工事を行っています。



□ 大規模修繕工事

修繕計画に基づく屋上防水工事、外壁塗装工事、手すりなどの鉄部塗装工事、給・排水管の取替え工事などを行います。



□ 調査研究・技術開発

専門の技術者が集合住宅の維持管理や住環境に関する調査研究、修繕材料や機器、工法・工具などを開発し、実施検証用に再現した建物を活用して、検証・評価などを行っています。

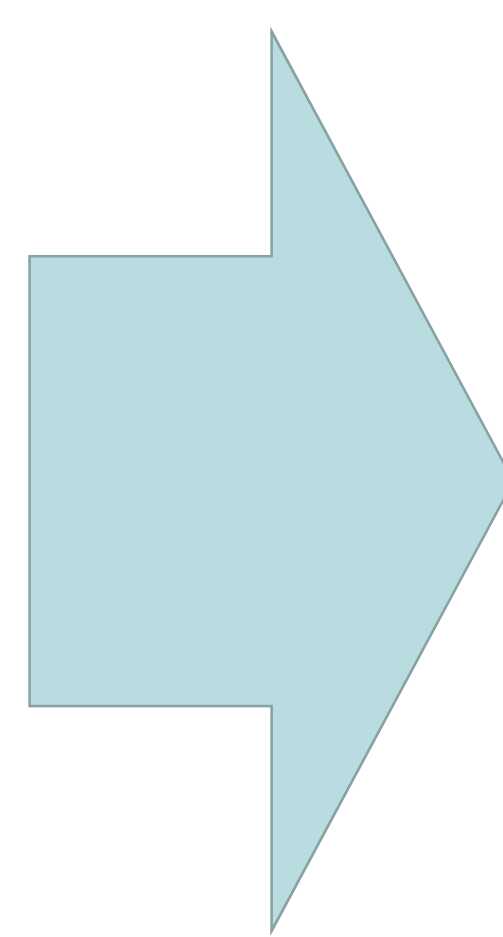
■ 改修実施例：エントランスの改修

JSが実施した、階段型住棟のエントランス改修実施例です。

自動ドアの設置、オートロック化による防犯に対する取組みや、段差解消のためのスロープ、手摺の設置。木目調の化粧パネルを活用したグレード感のあるしつらえとしました。



改修前



改修後

※：施工にあたり、事前に行政・消防な等の確認が必要になる場合があります。

日本総合住生活株式会社（JS）